

2022年度環境パフォーマンスについて
(評価期間：2022年2月～2023年1月)

環境保全活動による改善の成果を含む環境への負荷を2022年度環境パフォーマンスとしてまとめています。

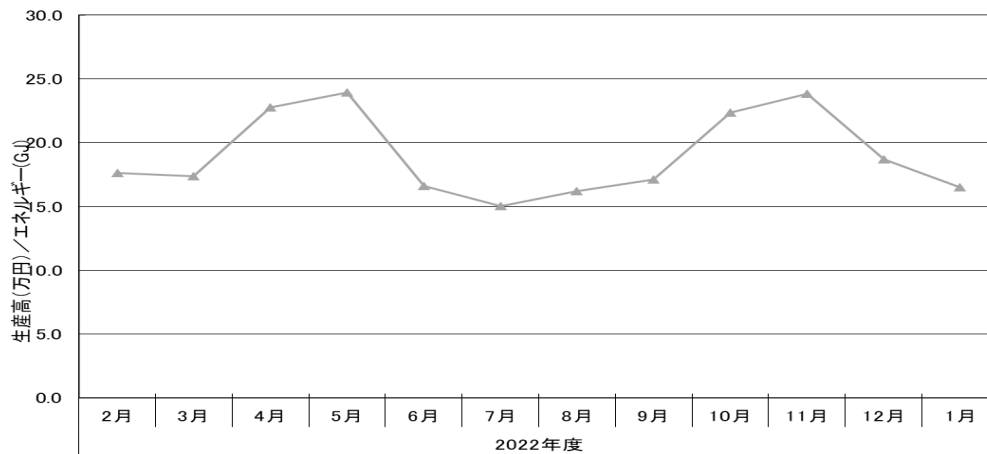
評価の指標として、環境省発行の「事業者の環境パフォーマンス指標(2000年版)」及び「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン(2002年版)」を参照した。また、換算の基準は「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」別表第1及び第3に拠っています。

1. 環境効率

単位エネルギー消費当たりの生産基準高(万円/ギガジュール)により評価。
「購入電力量」、「LPG使用量」を対象としています。

2020年度	2021年度	2022年度
16.0(万円/GJ)	14.7(万円/GJ)	18.5(万円/GJ)

月ごとの変化は下記の通り。



2. 環境に関する関係法令、その他の要求事項の状況

下記に示す関係法令、その他の要求事項に対応しています。

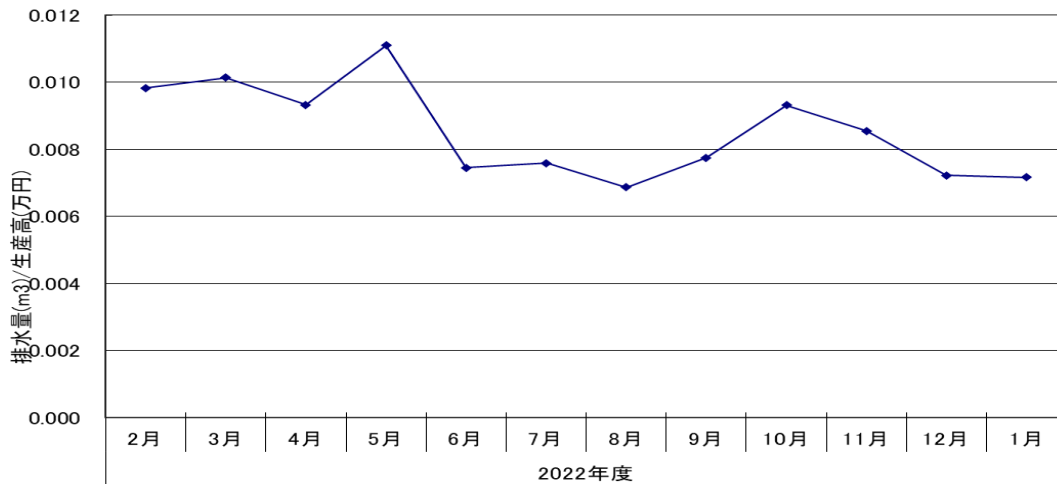
- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ② 大気汚染防止法 | ⑫ 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法) |
| ③ 水質汚濁防止法 | ⑬ フロン排出抑制法 |
| ④ 下水道法 | ⑭ ボイラー及び圧力容器安全規則 |
| ⑤ 騒音規制法 | ⑮ 消防法 |
| ⑥ 振動規制法 | ⑯ 労働安全衛生法 |
| ⑦ 悪臭防止法 | ⑰ 津山市下水道条例 |
| ⑧ 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 | ⑱ 津山市下水道条例 |
| ⑨ 化学物質管理促進法 | ⑲ 津山市環境保全条例 |
| ⑩ 毒物及び劇物取締法 | ⑳ ソニー㈱「部品・材料における環境管理物質管理規定」 |
| ⑪ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | ㉑ PRTR法 |

3. 排水発生量

単位生産高当たりの排水量（ m^3 ／万円）により評価。

2020年度	2021年度	2022年度
0.013 m^3 ／万円	0.009 m^3 ／万円	0.008 m^3 ／万円

月ごとの変化は下記の通り。



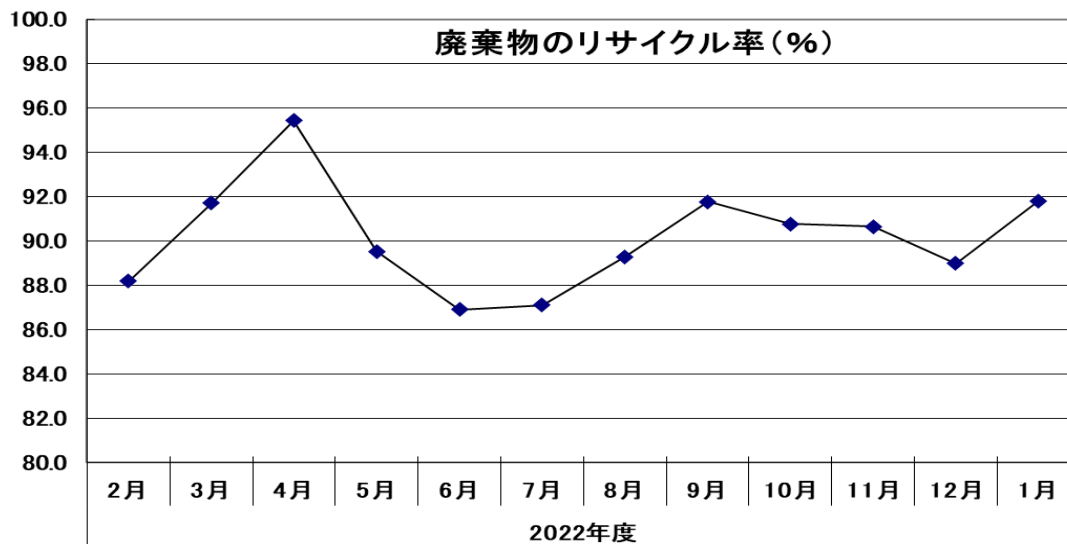
4. 廃棄物リサイクル率

廃棄物排出量（k g）の内、リサイクルに使用される排出量により評価。

「木くず」、「金属くず」、「ダンボール・新聞」、「燃えるゴミ」「プラスチック」を対象としています。

2020年度	2021年度	2022年度
88.7%	88.7%	90.9%

月ごとの変化は下記の通り。



以上